

Press Release

－お問い合わせ－

宇土市 まちづくり推進課 広報プロモーション係

担当: 東(ひがし)、松田(まつだ)、古田(ふるた)

電話: 0964-27-6608 / メール: machi05@city.uto.lg.jp



第 19 回宇城の窯元めぐり 宇土市の参加窯元紹介 (1 人目)

「梅田健太郎窯」——自給自足の焼き物

宇城地域の 10 の窯元で構成する「くまもと宇城・陶の会」が主催する「第 19 回宇城の窯元めぐり」が 10 月 11 日（土）から 19 日（日）までの 11 日間開催されます。

宇城地域には、陶芸やガラスなど多彩な作家が点在し、それぞれの窯元が独自の技術と哲学をもって制作に向き合っています。現在、各窯元では、このイベントに向けて個性豊かな作品を制作中。宇土市からは、3 つの窯元と「網田焼きの里資料館」が参加します。期間中には、各窯元の逸品が当たるスタンプラリーも実施。窯元や資料館に設置されたスタンプを 4 つ集めて応募すると、抽選で希望の窯元の作品が当たります。

今回より、宇土市から参加する 3 つの窯元を順次ご紹介します。1 人目は、宇土市上網田町の「梅田健太郎窯」です。

【梅田健太郎について】

梅田健太郎さん（53 歳）は、愛知県瀬戸市出身の陶芸家です。24 歳から佐賀県唐津市で約 3 年間修行し、技術を磨いた後、宇土市の上網田町に移住。自宅敷地内に「梅田健太郎窯」を構え、創作活動を続けています。父である、前田和さんとともに、地域の網田中学校の生徒の卒業制作「陶製のモニュメント」の制作を指導するなど、地域活動にも力を入れています。また、作品の焼成に使用する 1350℃まで温度が上がる登り窯や作業小屋をすべて自作、焼き物に使用する土や石を自ら採取するなど、体力派の陶芸家です。

【作品の特徴】

梅田さんの作品は、自身で採取した土や石を用いるのが特徴です。宇土や網田、唐津などから自ら原料を集め、粘土や釉薬を手作りしています。冬には自宅で使う薪ストーブの灰も釉薬の材料として活用し、自然の素材を余すことなく生かしています。

代表的な焼き物には、藁灰を混ぜた釉薬で仕上げる乳白色の「斑唐津（まだらからつ）」、鉄分の多い釉薬を使った「黒唐津」、そして両方の釉薬が自然に溶け合って模様を生む「朝鮮唐津」などがあります。

【所在地・連絡先】梅田健太郎窯 住所：宇土市上網田町 402 ☎090-3017-6650

「くまもと宇城・陶の会」代表：肥後瑠璃工房 坂本史朗 ☎090-6429-5608



報道関係者各位

2025 年 9 月 26 日
宇土市役所



Press Release

－お問い合わせ－

宇土市 まちづくり推進課 広報プロモーション係

担当: 東(ひがし)、松田(まつだ)、古田(ふるた)

電話: 0964-27-6608 / メール: machi05@city.uto.lg.jp

【参考】

作品例



梅田健太郎さん



自作された登り窯



採取した土や石

